

○それぞれの語の説明、機能、性質、作用を書く。

①～⑦

視覚的アウェーブanes

① 私たちの脳はとても多くの情報を捉えている。

とても脳の限られた記憶のシステムでは把握し尽くすことはできない。

② ある瞬間にはたしかに視野の中に感じられている膨大な量の情報のほとんどは記憶にとどめられる」となく、……「意識の流れ」と呼ばれる心理的時間の経過の中に消えていくてしまうのである。

「意識の流れ」＝心理的時間

→②「心理的時間」と表になれるのは何時間？

物理的時間……普通の時間

③ 自分の前の空間の中にはさまざまなものがぼんやりと見えていて

④ 視野の中に何かがあると気づいている状態
→これ以前の表現から同じものを見つける。

⑤ 仕事を終えて部屋の外に出た私の記憶の中から、これらものの存在はすっかり消えてしまっていた

→「コントラペーページドセシル」の部分か？

⑥ その時々の意識の流れの中に消えてしまう

⑦ 鉛沢な「源泉掛け流しの温泉」のようなもの
さまざまなものたちのほとんどは概念にも記憶にもとじまらないままに消えていく。
そんな儘い、しかしだからこそ鉛沢な空間性、並列性

→④「空間性、並列性」
③自分の前の空間の中にはさまざまなものがぼんやりと見えている
空間性 並列性

「概約」

⑤ 私がその一つ一つに注意を向け、言葉で表さ

概念として定着

→③「概念」辞書で引く……「大まかな意味内容」・イメージ

→「プリント4ページではない」の部分か？ 文章として書かれている状態

⑥ 概念化され、記憶に残る